

◎史学専攻
博士前期課程

専門 種目	授業科目	単位数	授業を行う年次	教職関連科目 (専修・社会／ 地理歴史)
日本史・日本文化史・東洋史・東洋文化史・西洋史・西洋文化史・文化遺産学	日本史演習Ⅰ	2	①・②	○
	日本史演習Ⅱ	2	①・②	○
	日本文化史演習Ⅰ	2	①・②	○
	日本文化史演習Ⅱ	2	①・②	○
	建築史学演習Ⅰ	2	①・②	○
	建築史学演習Ⅱ	2	①・②	○
	地域史演習Ⅰ	2	①・②	○
	地域史演習Ⅱ	2	①・②	○
	日本史特殊研究Ⅰ	2	①・②	○
	日本史特殊研究Ⅱ	2	①・②	○
	日本文化史特殊研究Ⅰ	2	①・②	○
	日本文化史特殊研究Ⅱ	2	①・②	○
	地域史特殊研究Ⅰ	2	①・②	○
	地域史特殊研究Ⅱ	2	①・②	○
	日本史講義Ⅰ	2	①・②	○
	日本史講義Ⅱ	2	①・②	○
	日本史講義Ⅲ	2	①・②	○
	日本史講義Ⅳ	2	①・②	○
	日本文化史講義Ⅰ	2	①・②	○
	日本文化史講義Ⅱ	2	①・②	○
	日本文化史講義Ⅲ	2	①・②	○
	日本文化史講義Ⅳ	2	①・②	○
	アジア史演習ⅠA	2	①・②	○
	アジア史演習ⅠB	2	①・②	○
	アジア史演習ⅡA	2	①・②	○
	アジア史演習ⅡB	2	①・②	○
	アジア考古学演習ⅠA	2	①・②	○
	アジア考古学演習ⅠB	2	①・②	○
	アジア考古学演習ⅡA	2	①・②	○
	アジア考古学演習ⅡB	2	①・②	○
	東洋史演習ⅠA	2	①・②	○
	東洋史演習ⅠB	2	①・②	○
	東洋史演習ⅡA	2	①・②	○
	東洋史演習ⅡB	2	①・②	○
	アジア史特殊研究Ⅰ	2	①・②	○
	アジア史特殊研究Ⅱ	2	①・②	○
	アジア史特殊研究Ⅲ	2	①・②	○
	アジア史特殊研究Ⅳ	2	①・②	○
	東洋史講義ⅠA	2	①・②	○
	東洋史講義ⅠB	2	①・②	○
	東洋史講義ⅡA	2	①・②	○
	東洋史講義ⅡB	2	①・②	○
	西洋文化史演習ⅠA	2	①・②	○
	西洋文化史演習ⅠB	2	①・②	○
	西洋文化史演習ⅡA	2	①・②	○
	西洋文化史演習ⅡB	2	①・②	○
	西洋史演習ⅠA	2	①・②	○
	西洋史演習ⅠB	2	①・②	○
	西洋史演習ⅡA	2	①・②	○
	西洋史演習ⅡB	2	①・②	○
	西洋文化史特殊研究Ⅰ	2	①・②	○
	西洋文化史特殊研究Ⅱ	2	①・②	○
	西洋史講義Ⅰ	2	①・②	○
	西洋史講義Ⅱ	2	①・②	○
	考古学演習Ⅰ	2	①・②	○
	考古学演習Ⅱ	2	①・②	○

専門 種目	授業科目	単位数	授業を行う年次	教職関連科目 (専修・社会／ 地理歴史)
東洋日本文化史・ 文化遺産学	地理学演習Ⅰ	2	①・②	○
	地理学演習Ⅱ	2	①・②	○
	歴史情報学演習Ⅰ	2	①・②	○
	歴史情報学演習Ⅱ	2	①・②	○
	文化遺産学特殊研究Ⅰ	2	①・②	○
	文化遺産学特殊研究Ⅱ	2	①・②	○
	文化遺産学特殊研究Ⅲ	2	①・②	○
	文化遺産学特殊研究Ⅳ	2	①・②	○
	文化遺産学特殊研究Ⅴ	2	①・②	○
	文化遺産学特殊研究Ⅵ	2	①・②	○
	文化遺産学講義Ⅰ	2	①・②	○
	文化遺産学講義Ⅱ	2	①・②	○
	日本考古学講義ⅠA	2	①・②	
	日本考古学講義ⅠB	2	①・②	
	日本考古学講義ⅡA	2	①・②	
	日本考古学講義ⅡB	2	①・②	
	史料管理学講義Ⅰ	2	1・2	
	史料管理学講義Ⅱ	4	1・2	
	史学総合演習Ⅰ	4	①・②	○
	史学総合演習Ⅱ	4	①・②	○
修士論文		—	—	

*「授業を行う年次」欄の○印は、隔年開講を表す。

履修方法

1. 全授業科目の中から30単位以上を履修しなければならない。
2. 演習については8単位以上を履修しなければならない。
3. 特殊研究については4単位以上を履修しなければならない。
4. 講義の中から4単位以上を履修しなければならない。
5. 上記の30単位とは別に、指導教員の指導のもとに修士論文を作成しなければならない。
6. 授業科目の修得については指導教員の指導を受けること。
7. 指導教員及び研究科会議が特に必要と認めた場合、本学大学院の他専攻又は学部・学部の授業科目を履修することができる。修得した単位のうち8単位は、研究科会議の承認を得て、修了に必要な30単位に含めることができる。
8. 中学校教諭(社会)及び高等学校教諭(地理歴史)の専修免許状を取得するには、修士の学位を有し、当該一種免許状を取得、または取得に必要な単位数を修得し、加えて表の「教職関連科目(専修・社会／地理歴史)」から24単位以上修得しなければならない。(P.48 大学が独自に設定する科目「学校インターン(大学院)」も当該免許状取得に必要な24単位に含むことができる。)なお、専修免許状の申請は、修了年度の10月初旬に学務課教務係に申し出ること。

博士後期課程

専門 種目	授業科目	単位数	授業を行う年次
東洋日本文化史・ 文化遺産学	日本史特殊研究演習Ⅰ	2	1・2・3
	日本史特殊研究演習Ⅱ	2	1・2・3
	日本文化史特殊研究演習Ⅰ	2	1・2・3
	日本文化史特殊研究演習Ⅱ	2	1・2・3
	地域史特殊研究演習Ⅰ	2	1・2・3
	地域史特殊研究演習Ⅱ	2	1・2・3
	アジア史特殊研究演習Ⅰ	2	1・2・3
	アジア史特殊研究演習Ⅱ	2	1・2・3
	西洋史特殊研究演習Ⅰ	2	1・2・3
	西洋史特殊研究演習Ⅱ	2	1・2・3
	文化遺産学特殊研究演習Ⅰ	2	1・2・3
	文化遺産学特殊研究演習Ⅱ	2	1・2・3
	史学総合研究演習Ⅰ	4	①・②・③
	史学総合研究演習Ⅱ	4	①・②・③
	史学総合研究演習Ⅲ	4	①・②・③

*「授業を行う年次」欄の○印は、隔年開講を表す。

履修方法

1. 課程修了のためには、3年以上在学し8単位以上を修得した上で、指導教員の指導のもとに作成した博士論文を提出し、論文審査に合格する必要がある。
2. 史学総合研究演習については4単位以上を履修しなければならない。
3. 特殊研究演習については4単位以上を履修しなければならない。
4. 毎年度末に年次報告書を提出すること。